

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
令和5年9月4日 提出

1. 視察概要

会派名	公明党
視察者名	横山悦子, 山田匡身
視察日	令和5年8月7日(月) 15:00~16:00 大阪府松原市役所3階会議室
視察先	大阪府松原市 市長公室秘書課
出席者	横山悦子, 山田匡身 後藤錦信, 小嶋匡晴, 只野直悦, 木村和彦, 法華栄喜, 小玉仁志 市民公室秘書課 課長 原田和昌, 課長補佐 前川由布子 公室長 橋本明 理事兼次長 松本久次

2. 視察内容

視察項目	松原がんばる市民応援金について															
視察内容	<p>「松原がんばる市民応援金について」</p> <p>スポーツ, 芸術, 文化等の分野において, 特に顕著な成績を収め, かつ将来にわたり活躍が期待される者等を支援することにより, スポーツ, 芸術, 文化等の振興を図るもの。</p> <p>がんばる市民応援金 交付対象者 個人一本市の住民基本台帳に記載されている個人であって, 日本または大阪府の代表として全国的模範以上の競技会等に出場または出展することが決定した者</p> <p>全国大会 上限 50,000 円 国際大会 上限 100,000 円</p> <p>応援金の交付実績 (令和4年度)</p> <table><tr><td>子ども</td><td>150回</td><td>452,600円</td></tr><tr><td>一般</td><td>115回</td><td>5,894,000円</td></tr><tr><td>高齢</td><td>26回</td><td>1,040,000円</td></tr></table> <p>がんばる市民応援金 財源内訳</p> <table><tr><td>自動販売機使用料</td><td>9,531,140円</td></tr><tr><td>がんばる市民応援寄付金</td><td>1,777,966円</td></tr><tr><td>運用収入</td><td>632円</td></tr></table> <p>がんばる市民応援金基金積立金を積立, 基金として繰入, 松原がんばる市民応援金として応援している現状</p> <p>応援金を受けた主な方々は, 後に, オリンピック選手やプロ野球など多くの選手が活躍をしてくる。</p> <p>応援金を受けた方々の声・小学生全国大会出場者保護者の声</p> <p>「会場まで保護者と二人分の費用がかかるところ, 応援金をいただき, 費用面ですごくたすかっています。」</p>	子ども	150回	452,600円	一般	115回	5,894,000円	高齢	26回	1,040,000円	自動販売機使用料	9,531,140円	がんばる市民応援寄付金	1,777,966円	運用収入	632円
子ども	150回	452,600円														
一般	115回	5,894,000円														
高齢	26回	1,040,000円														
自動販売機使用料	9,531,140円															
がんばる市民応援寄付金	1,777,966円															
運用収入	632円															

	70代全国大会出場者 「高齢になり、引退を考えていた時期もありましたが、応援金のおかげで生涯現役という目標ができました。」
他会派との 合同実施	新生会

以上

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
令和5年9月4日 提出

1. 視察概要

会派名	公明党
視察者名	横山悦子, 山田匡身
視察日	令和5年8月8日(火) 10:00~11:30 兵庫県洲本市役所
視察先	企画情報部企画課
出席者	横山悦子, 山田匡身 後藤錦信, 小嶋匡晴, 只野直悦, 木村和彦, 法華栄喜, 小玉仁志 企画情報部企画課 政策調整係, 新エネ・域学連携担当係長 高橋 壺

2. 視察内容

視察項目	再生可能エネルギーについて
視察内容	<p>【洲本市質問内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・エネルギーパーク構想のきっかけについて・取り組みと住民理解 (導入に際し, 反発はなかったのか。理解促進にどう努めたのか)・再生可能エネルギーの f i t , 自家消費等利活用について・実際の地域メリットについて・今後の展開などビジョンがあればお聞かせください。 <p>【これまでの取り組みとの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成13年に合併前の五色町が, エネルギービジョンを立ち上げ推進してきた。・域学連携(龍谷大学等)を開始し, 新たな事業モデルの構築。・休耕田を利用し菜の花, ひまわりエコプロジェクトにより, バイオ燃料の製造利用をおこなっている。・竹が増えすぎて野生動物の住処になっていたので, ボイラーを改良し, 竹チップを主燃料とするバイオマスボイラーの整備。・次世代エネルギーパークの指定を受け, 環境学習や視察研修を積極的に開催し幅広い世代を対象に, 再エネの普及啓発に努めている。・山間部の限界集落の水路の小水力発電を作り, 集落の一本道のフットライトとして活用している・域学連携から産官学金連携(洲本市, 淡路信用金庫, 淡陽信用組合, P S 洲本株式会社, 龍谷大学)へ発展し再エネ事業を推進している。・洲本市で再エネ条例を作り, 地域に利益が残るシステムを作った。
他会派との合同実施	新生会

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
令和5年9月4日 提出

1. 視察概要

会派名	公明党
視察者名	横山悦子, 山田匡身
視察日	令和5年8月9日(水) 10:00~11:30 大阪府池田市役所3階 会議室
視察先	池田市教育委員会 教育部 学校教育推進課
出席者	横山悦子, 山田匡身 後藤錦信, 小嶋匡晴, 只野直悦, 木村和彦, 法華栄喜, 小玉仁志 教育部 学校教育推進課 課長 安原宏一 教育部 学校教育推進課 指導主事 本田光宏

2. 視察内容

視察項目	英語教育の取組み
視察内容	<p>1. 池田市のめざす教育の方向性 平成24年4月に策定した「池田市教育ビジョン」に基づき、5項目を柱にしていることについて。</p> <p>2. 池田市の外国語（英語）教育について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 外国語教育を通しためざす子ども像(2) 「教育特例校制度」を活用した小学校低学年での「英語活動」(3) 「英語専科教育」の配置（教育日本一に向けての取組み）(4) 教員の海外派遣研修(5) 指導方法工夫改善を活用した加配教員の配置(6) 外国語英語講師（ALT）の配置(7) 外国語教育研究会(8) 英語教育推進チーム連絡会(9) 教職員研修の充実(10) 外部英語検定試験「GTEC」の導入(11) 英語に係るさまざまな取組み <p>3. これまでの取組みとの成果と課題 「GTEC」を導入した事により子どもたちの英語力を把握しやすくなり、「聞くこと」「話すこと」の技能が毎年上昇が見られること。その一方で、英語教育の導入の低年齢化により、通塾や英会話レッスンなどに早期から対応される家庭も増え始め、格差を心配していた。</p>
他会派との合同実施	新生会